

大 学 名	静岡県立大学	学 問 分 野	学際・複合・新領域
専 攻 等 名	生活健康科学研究科: 食品栄養科学専攻、環境物質科学専攻 薬学研究科: 薬学専攻、製薬学専攻、医療薬学専攻		
拠点のプログラム名称	先導的健康長寿学術研究推進拠点		
拠点リーダー氏名	木苗直秀	所属部局・職	食品栄養科学専攻・教授
プログラムの概要	食品の機能特性を広範に研究する生活健康科学研究科と、各種疾患の病因や医薬品の有効性・安全性を研究する薬学研究科が密接に連携し、拠点を形成する。食品と医薬品の併用による複合効果の発現、副作用の軽減を目指し、また複合的な安全性評価法を確立する。これを通して疾病の予防から治療に至る一貫性を持った新規学問領域「薬食同源」を創成する。		
拠点形成の目的・必要性	食品は健康を維持増進するために日常的に摂取するもの（栄養素等）であるのに対して、医薬品は一般的には疾病を治療するために用いるもの（薬物）であるとされ、それらの生体に対する効果や安全性は個別に検討されて来た。近年、食品が持つ高次機能の研究が進められ、たとえば生活習慣病の一次予防に有用な食品成分の科学的知見が集積されてきた。また、最も先進的な「保健機能食品制度」の制定により医薬品と食品の垣根が実質的に取り払われたものと考えられる。新規に開発された保健機能食品では、疾病予防のみならず、医薬品との併用で複合効果を発揮し、時には副作用を緩和することが指摘されている。本拠点では、食品と医薬品の併用による複合効果の発現と機構解明およびそれらの知見に基づく副作用の予知および軽減、食品および医薬品の複合的な安全性評価法の確立、また機能食品の有効成分より安全性の高い治療薬の創成などを目指して、生活健康科学研究科と薬学研究科が緊密に連携を保ちつつ研究教育拠点を形成することで、疾病の予防から治療にいたる一貫性を持った新学問領域「健康長寿科学」を創出することを目的とする。また、本拠点から「薬食同源」の視点をもつ独創性豊かな科学者を輩出するとともに、医薬品および保健機能食品の正しい利用方法を国民に助言できるアドバイザースタッフおよびその指導者の養成を目指している。そのために「新領域創成総合センター」を設置し、本拠点事業の推進をはかるとともに、全学的なオンリー1研究教育育成のための橋頭堡とする。		
研究拠点形成実施計画	(1) 食品と医薬品の相互作用を評価する動物実験システムの開発。(2) 高次機能食品開発のための分子生物学的基盤整備。(3) がん、糖尿病、循環器疾患、感染症、アレルギー疾患の病因解明をめざした研究の推進と「治療・予防」のための食品由来の創薬シーズの探索。(4) 緑茶成分によるがん、アレルギー疾患などに効果のある分子標的の研究。(5) 人体評価系のための基盤技術：宿主応答の個人差のもととなる細胞内分子標的の計量化、生活習慣病の発症に関与するバイオマーカーの選別。(6) 薬物評価系や安全性評価のための分析技術の開発。(7) 食品と医薬品の相互作用に関するデータの収集とデータベースの作製。(8) 食品と医薬品の相互作用に関するヒトへの介入試験のための体制整備。(9) 国内外の大学、試験研究機関との学術交流。(10) 新学問領域「健康長寿科学」を推進するための人的交流。(11) 新研究科を含む「新領域創成総合センター」の設置。		
教育実施計画	(1) 大学院博士後期課程の教育内容の充実と一貫教育の実施 薬食同源を共通の認識とする本研究科は、前期・後期課程の教科に強い統一性を持たせ、大学院生に境界領域を切り開く能力を涵養する。その目的に沿って本研究科では以下の点に格別配慮する。国際交流。単位互換制度の拡充。県試験研究機関、国内外の大学、研究機関との連携大学院の設置。高度の知識と技術を有する臨床薬剤師・臨床栄養士教育。 (2) 研究指導体制の強化 以下の点について人的資金的援助を行う。国内・国外の大学院との院生の交流推進。ティーチングアシスタント制度の充実。国内・国際学会の参加と発表の推進、そのための複数言語による発表能力・意見交換能力の強化。異専攻間の院生・教員の交流の場の新設。ITの活用。 (3) 研究指導の質的向上を目指したポストドク制の導入 国内外よりポストドクを募集し、大学院教育の充実と研究の積極的な展開を計る。 新学問領域「健康長寿科学」において創造的研究を遂行できる独立した研究者を養成する環境を構築し、拠点完成時には博士（健康長寿科学[仮称]）を輩出する。		

(21世紀COEプログラム)

先導的健康長寿学術研究推進拠

学術研

薬食同

教育・学術交

世界最高水準の食薬融合研

静岡県立大学

世界にはばたく若手研究者の育

- ・食品と医薬品の複合作用の解明
- ・高次機能食品の開発と創薬
- ・食薬併用時の機能特性と安全性の超高感度評価法の開発
- ・ヒトへの大規模介入試験による実用化

生活健康科学研究科

- ・食品栄養科学専
- ・環境物質科学専

薬学研究

- ・薬学専攻
- ・製薬専攻
- ・医療薬学専

- ・一貫教育の実施
- ・国内外の大学院との学術交流促進
- ・連携大学院体制の促進
- ・ポストドク・ティーチングアシスタント制度の拡充
- ・食薬を理解できるアドバイザースタッフの育成

新領域創成総合センター

富士山麓先端健康産業集積構想推進センター
(医薬品、食品の治験等)

健康長寿財
県総合健康センター

都市エリア産学
連携促進事業

- ・国際関係学研究
- ・看護学研究
- ・経営情報学研究

しずおか産業創造機
(医薬品・食品産業)